

● 春季休業中の開館時間と 長期貸出のお知らせ

いつもよりも長く借りることが出来ます

3月18日(金)までに借りた本は、返却日が4月8日(金)になります。但し延長不可です。また、卒業される方は3月31日(木)までの貸出となります。

休館日に注意

春季休業中は土日祝日が休館です。また、3月21日～3月25日は蔵書点検のため休館です。

◆ Contents ◆

<トピックス>

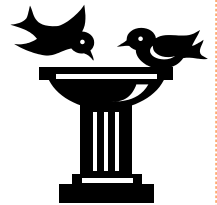
春季休業中の開館時間と長期貸出のお知らせ
コンシェルジュからのメッセージ

<お薦め図書>

「アイヌ語地名で旅する北海道」

<つぶやきライム>

書くこと、それは生きること

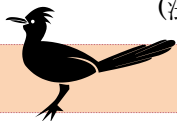


● 平成22年度後期コンシェルジュからのメッセージ

学生の学びをサポートする学生、その名も図書館コンシェルジュ。今年度から始まった取り組みでしたが、皆さんの目にどう映ったのでしょうか。今回は実際にコンシェルジュをした学生9名から、やってみた感想や島大生に伝えたいことを聞いてみました。

私は、コンシェルジュの活動を通して、図書館利用のスキルやコミュニケーション能力が向上しました。活動はとても楽しかったです。コンシェルジュをやって良かったです。

(法文学部 1 回生)



日頃、図書館を利用して「ここが不便だ」「もっとこうしたら良いのに…」と思ったことはありませんか？コンシェルジュは、それを実現できるお仕事です。

(総合理工学部 2 回生)



今回、コンシェルジュとして活動させていただいて、いつも何気なく通っていた静かな図書館が数多くの人たちの支えで成り立っているのだということを知ることが出来ました。

(教育学部 4 回生)



お金をかけずに暇を潰せて、かつ知識が得られるのは図書館ぐらいなものだと思います。ぜひ皆さんも時間ができたら図書館に足を運んでみて下さい。

(法文学部 4 回生)



図書館で返却作業をしていると様々な本を目にします。興味がなかった分野の本でもめくってみると面白かったりします。いつもと違う本棚の本を眺めてみてはどうでしょうか。

(法文学部 4 回生)



是非、図書館へと足を運び、小説を読むことによってこれからの世界が変わるような感動を味わってみてください。

(生物資源科学部 4 回生)



一度きりの大学生活。貴方の隣には図書館がある。嬉々として本と戯れよう。

(人文社会科学部 1 回生)



みんなが(口には出さないけれど)思っている図書館への要望を少しでも取り上げることが出来る存在になれば…と考えつつやりました。とても楽しい四ヶ月間でした。

(人文社会科学部 1 回生)



大学は就職のための予備校ではなく、夢を見つけ、夢を掴むための場所です。真剣に自分の夢を見つけて、それに向かって努力して下さい。夢は必ず叶います。感性を磨こう!

(人文社会科学部 2 回生)



この図書は法文学部 4 回生の
図書館コンシェルジュ推薦です。

<お薦め図書>

『アイヌ語地名で旅する北海道』

北道邦彦 著

地名には様々な由来がありますが、北海道の地名はアイヌ民族の言葉によるものが多いです。そしてアイヌ語地名を分解すると、対象の地形や状態を形容して命名していたことがわかってきます。その例を紹介しましょう。

室蘭半島の最南端に位置する「地球岬」。この語源はなんだと思いますか？ 遠くに見える地平線に地球の形を見る事ができるから「地球」岬でしょうか？

実はその語源はアイヌ語のポロ・チケブで、日本語で「親である・断崖」を意味します。そしてこのチケブ(断崖)が訛ってポロ・チケウェ(親である・その断崖)になりました。さらにチケウェを和人(本土の人)がチキウと聞き違えて、これに「地球」という字が当てられたということです。こうした和人の聞き違いや勘違いが地名に与えた影響は数多くあるといえます。

本書では有名な都市の名前からこれまで知らなかったものまで幅広く紹介されています。その語源をたどれば、不思議な響きを持つ北海道の地名にも深い意味があることがわかります。気軽に読めるのでぜひ手にとってみてください。(S)

【291.1/Ki66 1F 新館閲覧室】



<つぶやきライム(13)~図書館職員のメッセージリレー~>

書くこと、それは生きること

“ぶつぶつ”とつぶやいた言葉がつながり合わされ、世界を駆け巡る時代がやってきました。ひとつひとつは短くとも、全体では驚くべき数の一爆発的なつぶやきが世界を動かす力を持つまでになるという、少し前までは思いもよらなかった動きです。

でも、どうして人は文字に書きとめるのでしょうか。ツイッターでもそうですが、自分が考えたことを友達に、先生に、また就職希望先企業に伝えるため。その通り。しかも、口から発せられる言葉は一瞬で消え去ってしまいますが、書き物になっていけば長い時間世の中に留まります。そういった意味で、元来は今の時間を共に生きる人たちとのコミュニケーション手段が、自分の子孫に伝えるメッセージの意味合いを持つこととなります。逆に見れば、太古の昔の史実を明らかにする道具ともなるわけです。インディ・

ジョーンズ先生ばりに目くらむような秘宝とまではいかないまでも、その昔の普通の人たちの赤裸々な生活をも今に伝える貴重な財産です。ただし、その本人は、そんなことを意識して書き物にしたわけではないことがほとんどでしょう。あれやらこれやら後々の人々が勝手に詮索するわけですから、当の本人にとっては迷惑なことでもないではないかもしれません。

このコラム記事が、何かの気まぐれで数十年後にデータベースの隅っこから引き出される、なんてことは百万のうちの一つもないでしょうけれど、今、このライムを手にした貴方、そういった歴史のひとつコマを作り上げていることを認識して、自分の足跡をしっかりと刻んでおいてください。それは、きっと誰か気づくに違いないですから。

(HRK)



(けんさくくん)

「行く・逃げる・去る」というけれど、あっという間に3月だね。心機一転、春からまた頑張ろうと。



(みいなちゃん)

島大から飛び立とうとしているみなさん！ 図書館の本の返却を忘れないように気をつけてね！！



(ライム博士)

春休み中も平日は開館しているから、がらがら図書館を使い倒してもらいたいな。新生活へのステップアップに、のんびりする午後に、来たる春への充電に。素敵な春休みを！

